

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	開発等指導事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民、事業者	目的	都市づくりの指針となる都市計画マスタープランのもと、魅力あふれる都市づくりを推進し、まちづくりに関する条例に則り良好な住環境の形成を図る。			
事業概要	「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、町民・事業者・行政の責務を明確にし、三者が協力や相互に理解をしながら、町の特性に応じた開発事業の誘導を図っていく。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	0001 都市計画審議会等経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	
			R 4 事業費			
	直接事業費	0	50			
	概算人件費	1,418	1,418			
	トータルコスト	1,418	1,468		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.33 人		1,418 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,418 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	4.19	2.61
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 条例化により適正な指導等を行っているため、大きなトラブルは発生していない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	都市計画審議会経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民、事業者	目的	都市づくりの指針となる都市計画マスタープランのもと、魅力あふれる都市づくりを推進し、まちづくりに関する条例に則り良好な住環境の形成を図る。			
事業概要	都市計画を決定する際に都市計画審議会へ諮問し、答申いただくこととするため、その審議会を運営することを目的とする。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	0001 都市計画審議会等経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	0		120		
	概算人件費	145		145		
	トータルコスト	145		265		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.03 人		145 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			145 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	4.19	2.61
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

令和元年度については都市計画決定に係る新規・変更案件は無かった。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	住宅リフォーム等助成事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●		●
事業対象	町民、事業者	目的	住宅リフォームに対する助成を実施していくことで居住環境の向上を推進する。			
事業概要	居住環境の向上、地域経済の活性化、住宅ストックの利活用と定住促進及び同居・近居支援のため、住宅リフォーム工事等の費用の一部を補助する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	大事業 0005 住宅リフォーム等助成事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,500		0		
	概算人件費	598		0		
	トータルコスト	3,098		0		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.16 人		598 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			598 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① リフォーム助成等申請件数（件）	30	35	-	-	-
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 空家を活用した定住促進のための住まいの確保	4.01	2.72
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等 住宅リフォーム助成事業については、一定の成果が見込まれたため、ここで終了とする。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	休・廃止
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	休・廃止
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	地籍調査事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●				
事業対象	町民	目的	国土調査法に基づく用地調査を行うもので、用地の境界、面積、所有者を確定し、土地の明確化を図ることで居住環境の向上を推進する。			
事業概要	平成27年度に実施した官民境界等先行調査の後続調査であり、対象面積1.6haの一筆地調査を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	01	01	大事業 0003 地籍調査事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	2,277		4,984		
	概算人件費	2,004		2,004		
	トータルコスト	4,281		6,988		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.55 人		2,004 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			2,004 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	空家を活用した定住促進のための住まいの確保	4.01	2.72
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 専門性が非常に高く、今後、事業を継続するため、専属的な人員配置が必要となる。
 全町を完了させるためには長期間となる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	空家等対策推進事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●			●
事業対象	町民、事業者	目的	適切に管理されていない空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、空家等に関する対策を実施する。			
事業概要	「空家等対策の推進に関する特別措置法」および、「二宮町空家等対策計画」に基づき、町内の空家対策を進める。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	0006 空家等対策推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	46	7,315			
	概算人件費	1,906	1,906			
	トータルコスト	1,952	9,221		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.54 人		1,906 千円		/
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,906 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	空き家リフォーム・解体申請件数（件）	2	0	2	2	2
②	空き家バンク登録件数（件）	2	0	2	2	2

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	空家を活用した定住促進のための住まいの確保	4.01	2.72
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 空き家を増加させないよう、所有者へ適正管理の認識を向上させるための啓発の工夫が必要。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	土木管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	町道及び河川等の土木管理全体の維持管理を行う。			
事業概要	道路台帳整備、事務機器借上等、土木管理全体に必要な事業を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	01	01	大事業 0001 土木管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	4,165		4,815		
	概算人件費	1,724		1,724		
	トータルコスト	5,889		6,539		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.39 人		1,724 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,724 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
道路台帳はシステム化され、窓口対応等の時間短縮が図れている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	道路新設改良事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、道路の新設や拡幅改良工事を行う。			
事業概要	道路の新設や拡幅するための調査、工事を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	02	02	大事業 0001 道路新設改良事業寄
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	0		17,747		
	概算人件費	1,447		1,447		
	トータルコスト	1,447		19,194		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.35 人		1,447 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,447 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
 当該年度については、新設改良となる事業は発生していないが、維持管理を行っていくうえで、必要に応じて対応していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	道路維持管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、適切な維持管理を実施していく。			
事業概要	側溝清掃や街路樹等の維持管理委託、橋りょう長寿命化対策、通学路安全施設整備、道路修繕工事等を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	02	01	大事業 0001 道路維持管理経費寄
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	206,536		158,717		
	概算人件費	6,268		6,268		
	トータルコスト	212,804		164,985		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.35 人		1,408 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	3 人		4,860 千円		
	合計			6,268 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 道路等のインフラについては、町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などによる修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	狭あい道路等拡幅整備事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき、建築基準法第42条2項の規定に基づく道路の拡幅整備を実施し、安全・安心な道路を整備する。			
事業概要	狭あい道路拡幅等に関する協議書が申請された土地の用地取得、物件補償を行い、後退用地の整備工事を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	02	02	大事業 0002 狭あい道路等拡幅整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	30,312		41,540		
	概算人件費	1,613		1,613		
	トータルコスト	31,925		43,153		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.45 人		1,613 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,613 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 建築に伴い道路後退が発生することが主な要因となることから、毎年、一定の件数とはならない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	河川維持管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	二宮町が管理する河川の維持管理を実施し、河川の適正管理を図る。			
事業概要	町管理河川である梅沢川や緑が丘地内の打越川の草刈り、清掃等を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	03	01	大事業 0001 河川維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	1,444		1,655		
	概算人件費	186		186		
	トータルコスト	1,630		1,841		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.04 人		186 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			186 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 河川の氾濫に繋がらないよう、適正な管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	コミュニティバス運行事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	路線バス・コミュニティバスの再編・見直しや新たな乗合交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進める。			
事業概要	公共交通空白地域・不便地域の解消を目的に、町民が利用しやすいコミュニティバスを運行する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	大事業 0004 コミュニティバス運行事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	9,890		15,279		
	概算人件費	644		644		
	トータルコスト	10,535		15,923		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.15 人		644 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			644 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① コミュニティバスの乗車人員（人/日）	75	78	70	85	100
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域交通の確保	4.24	2.77
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	コミュニティバス利用者の向上に努めている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	駅周辺整備計画事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	二宮駅を中心とした周辺の整備を図り、町の玄関として町民の誰もが誇りに思える駅前空間を実現するため、安全で快適な交通の確保を図る。			
事業概要	町の交通結節点であり、吾妻山公園の入口でもある二宮駅周辺を誰もが安全、快適に通行できるよう整備を行う。駅前町民会館跡地に暫定駐車場及び歩道を整備する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	大事業 0007 駅周辺整備計画事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	33,480		0		
	概算人件費	962		0		
	トータルコスト	34,442		0		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.2 人		962 千円		/
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			962 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	中心市街地等の整備・誘導	4.25	2.48
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成果・課題等	当該年度で駅周辺の暫定整備が終了した。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	休・廃止
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	休・廃止
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	町の玄関として、南北駅前広場や南北エレベーター等の適切な維持管理を行い、安全で快適な通行等を確保する。			
事業概要	JR二宮駅南北に設置されたエレベーター、エスカレーター等の定期点検や修繕による維持管理、また、駅南北の公衆トイレ及び南北駅前広場の清掃を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	01	01	0002 南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	11,447		9,923		
	概算人件費	838		838		
	トータルコスト	12,285		10,761		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.2 人		838 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			838 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	中心市街地等の整備・誘導	4.25	2.48
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 二宮駅利用者が安全かつ気持ちよく利用できるよう維持管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

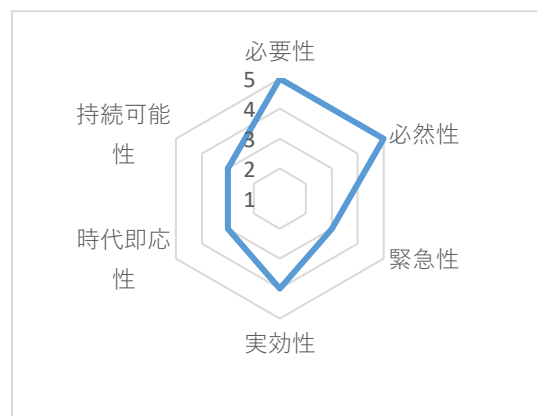
予算等事業名	公園等維持管理運営経費 ※			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	町民	目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。			
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	02	大事業 0001 公園等維持管理運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	62,608		64,253		
	概算人件費	22,861		22,861		
	トータルコスト	85,469		87,114		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	7,787		8,090		
R 1 概算人件費	正規職員	0.52 人		2,450 千円		
	再任用職員	0.3 人		452 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	26.58 人		19,959 千円		
	合計			22,861 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 入込観光客数（人）【戦略】	550,860	550,860	400,000	560,600	566,000
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 公園・広場の充実と適切な管理運営	3.96	2.80	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析					
分析の視点	高い	←→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	公園利用者や地域住民が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めている。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	公園等整備事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	町民	目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。			
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	02	大事業 0002 公園等整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	1,502	2,500			
	概算人件費	933	933			
	トータルコスト	2,434	3,433		0	0
	国庫/県支出金	0	0			
	その他	0	0			
R 1 概算人件費	正規職員	0.18 人		933 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			933 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	公園・広場の充実と適切な管理運営	3.96	2.80
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	公園統廃合計画に基づき、公園施設の更新や改修を行い適正な運営管理に努めている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	緑地等維持管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●	●	●	
事業対象	町民	目的	町管理の緑地等の維持管理を実施し、民有地の樹木の保全に助成を行ない樹木の保全を図る。			
事業概要	町管理の緑地等の維持管理を実施し、民有地の樹木の保全に助成を行ない樹木の保全を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	03	0001 緑地等維持管理経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算見込		R 3 事業費	R 4 事業費
	直接事業費	4,121	4,180			
	概算人件費	1,193	1,193			
	トータルコスト	5,315	5,373		0	0
	国庫/県支出金	13	13			
	その他	245	244			
R 1 概算人件費	正規職員	0.15 人		748 千円		
	再任用職員	0.1 人		151 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0.4 人		294 千円		
	合計			1,193 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
①	自然保護奨励金制度の対象面積（㎡）	80,000	87,484	87,484	87,484	87,484
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
町内緑地の保全や、高木の剪定、草刈りなどを行い適正な維持管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	緑化推進事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●	●	●	●
事業対象	町民	目的	町内の花壇や公共施設に花苗等を植栽することにより、住民意識の高揚を図る。また、町の緑の将来を見通した総合的な指針となる緑の基本計画の改定を行い、緑化の保全及び緑化を計画的かつ効率的に推進することを目指す。			
事業概要	町内の花壇や公共施設に花苗等を植栽することにより、住民意識の高揚を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	03	大事業 0002 緑化推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
		直接事業費	1,285	1,404		
		概算人件費	436	436		
		トータルコスト	1,721	1,840		0
		国庫/県支出金	77	77		
		その他	0	0		
R 1 概算人件費		正規職員	0.1 人		422 千円	
		再任用職員	0 人		0 千円	
		会計年度任用職員	0 人		0 千円	
		その他	0.02 人		15 千円	
		合計			436 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 花いっぱい運動の実施回数（回）	2	2	1	2	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 花いっぱい運動参加団体の負担軽減や、花壇の維持管理を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和元年度 実績）

予算等事業名	耐震診断等事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民	目的	木造建築物の耐震相談会や耐震診断費補助及び耐震改修工事費補助を実施することにより、町民の防災意識及び住環境の向上を図る。			
事業概要	木造建築物の無料相談会の開催、耐震診断費、耐震改修工事費及びブロック塀撤去工事費の補助を実施することにより、住環境及び町民の防災意識の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	大事業 0003 耐震診断等事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算見込		R 3 事業費
		R 4 事業費				
	直接事業費	1,600		10,600		
	概算人件費	374		374		
	トータルコスト	1,974		10,974		0
	国庫/県支出金	0		0		
	その他	0		0		
R 1 概算人件費	正規職員	0.09 人		374 千円		
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			374 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 見込	R 3 計画	R 4 計画
① 耐震診断・改修申請件数（件）	5	3	5	6	-
② ブロック塀撤去申請件数（件）	5	4	5	6	-

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自助活動の推進	4.03	3.04
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 一般住宅の耐震化率の向上を目的としており、耐震診断を申し込む町民はいるが、耐震改修工事を実施するまでいたらない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			